

津山市街地は、城跡、武家屋敷、町家、社寺等の総合的な遺構が往時の面影をよくとどめた城下町である。

今日の津山の発展の礎となった歴史の道、文化の道である出雲街道の中間に位置する津山市の中でも、特に城東地区は旧出雲街道の約1.2キロメートルに沿って江戸期の町家を中心に伝統様式の町家の集積保存度の高い地区となっている。市では、こうした伝統的建造物の保存を図り住みよい生活環境の整備をするとともに、地区の産業起こしや地区の伝統行事や祭りなどを積極的に生かしたソフト面での街づくりにも積極的に取り組んでいる。



所在地 岡山県津山市橋本町～東新町  
 諸元 延長：1.2km  
 イベント 講演会、シンポジウム

